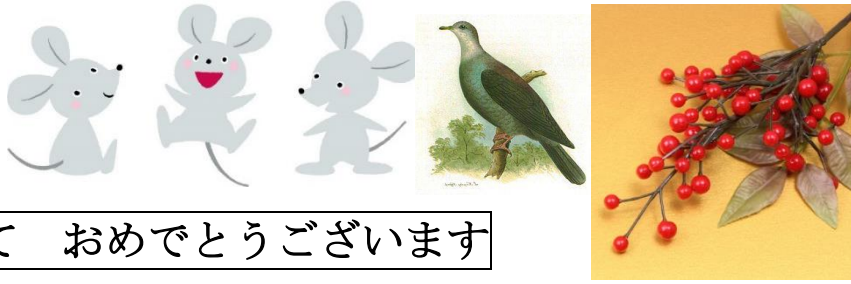


# 園だより



令和2年1月1日

社会福祉法人新田保育園  
園長 野村 陽子

## あけまして おめでとうございます

こんなことがありました。年末、園長副園長で休日を利用し、小田原湯河原を旅行しました。小田原の町を探索していた時のことです。ブティックの中に入り込んで、ショーウインドウに閉じ込められ、出られなくなってしまう鳩がいました。店主のご婦人も鳩を助けようと、ショーウインドウまで追い込んだものの、ガラスを突き抜けて飛び去ろうとパニック状態の鳩に対し、成す術がなく途方に暮れておられました。お客さまたちも、鳩を助きたい気持ちはあるものの、どうしたらよいか困っておられました。見れば、おそらくまだ若い、大変美しい鳩でした。

副園長がガラス面は透明ではあるけれど、そこは通れないと鳩に示すために外側に立ち、鳩の視界をふさぎました。私はお店の中のもの移動し、背後から鳩を保護し、店外に連れ出しました。園ではチャボを飼育しておりますので、鳥の取り扱いには慣れております。副園長とのファインプレーでした。

それから、しばらく経ったある日のことです。ねずみいろに緑と紫の首巻をした美しい娘さんが新田保育園を訪ねてきました。「私は旅の者です。環七で迷ってしまい、お腹もすき困っております。ここで休ませてもらえませんか」「それはお困りのことでしょうか。丁度給食もございます。お入りください」ところが、その娘さんは何日経っても保育園を離れようとしません。子どもたちの食べこぼしのお掃除を手伝ってくれたり、敏捷な動きで子どもたちと鬼ごっこをしたり。そしてこのような事を言いました。「園長、子どもたちが帰った後、ぞうぐみを私に貸してください」「それは構いませんが、何をやるのですか」「それは言えません。そしてその間、絶対にぞうぐみを覗かないでください」「わかりました…」

私はしばらく我慢しました。しかし戸締りのため、ぞうぐみの前を通ると「トンカラリ トンカラリ」という音が聞こえてくるのです。一週間ほど経った頃、美しい娘さんが一体何をしているのかどうしても気になり、そうっとぞうぐみを覗くと、美しい鳩が自らの羽を抜き、機を織る光景がありました。「あなたは、もしや」「私は小田原の鳩でございます。見られてしまったら、もうここにいることはできません」そう言い残すと、ねずみいろに緑と紫の模様が入った美しい織物を置いて、空を羽ばたき飛び去ってしまいました。それっきり。

お気づきのとおり、途中までは実話で後半は創作です。現実には防犯上、正体不明の方を園に入れることはありません。今年も楽しい保育園を、子どもの世界を子どもたち、保護者の皆さま、職員で創っていきたいと思います。災害や事故はなるべくありませんように。病は早く治りますように。たくさんの楽しい物語を、子どもたちと紡いでいける世の中でありますように。本年も、どうぞよろしく願いいたします。

### ●幼児組給食副食費の引き落とし日は、1月15日(水)です。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
1月				保育はじめ				はるまつり集会		ダンスの日・ぞう懇談会				ことり個人面談	健診0・3歳	はるまつり集会・みかん懇談会	餅つき誕生会(写真撮影)				避難訓練	はるまつり総練習①	健康体育		保護者会運営会議						はるまつり総練習②		